

ガスふろ給湯器 ニュージェット30-15
取扱説明書

こあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスふろ給湯器 **ニュージェット30-15** をお買い上げいただきましてありがとうございます。

安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

○この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。

○創業の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

○業者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を確認してください。

○本書を紛失された場合や、ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスにお問い合わせください。



図は31-576型です。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	〒550 大阪市西区千代崎3-2-95 ☎06 (586) 3200
南部支社	〒590 堺市住吉橋町2-2-19 ☎0722 (38) 1131
北部支社	〒569 高槻市篠の里町39-6 ☎0726 (71) 0361
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2-3-17 ☎0729 (62) 1131
兵庫事業本部	〒650 神戸市中央区東川崎町1-8-2 ☎078 (350) 3100
京都支社	〒600 京都市下京区中堂寺栗田町1番地 ☎075 (311) 7381
奈良支社	〒631 奈良市学園北2-4-1 ☎0742 (44) 1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1-5 ☎0734 (31) 2481
兵庫西支社	〒670 姫路市神屋町4-8 ☎0792 (85) 2221
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6-57 ☎0796 (23) 2221
滋賀支社	〒525 草津市西大膳町5-34 ☎0775 (62) 5311
滋賀東支社	〒522 彦根市大東町12-11 ☎0749 (22) 3131
長浜営業センター	〒526 長浜市南泉源町3-4 ☎0749 (62) 7171
本社・ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市中央区平野町4-1-2 ☎06 (202) 2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして、(火気に注意して)大阪ガス支社またはサービスショップに連絡してください。

型 式 名	YV1627R YV1627RG YV1627RQ YV1627RM
-------------	---





使いかた

お湯の出しかた



17

湯はり予約のしかた



27

点検・お手入れ・他

点検のしかた



38

使用前に

特に注意していただきたいこと



1

各部のなまえとはたらき



10

湯はりのしかた



21

保温のしかた



29

おふろの温度調節



残り湯の沸かししかた



32

お手入れのしかた



39

故障かな？と思ったら



40

アフターサービス



43

●機器の仕様は、スタンダードタイプとデラックスタイプがあり、ご使用のリモコンの商品コードで識別ができますので、ご確認ください。

	浴室リモコン	脱着リモコン
デラックスタイプ	36-562	36-563
スタンダードタイプ	36-564	36-565

特に注意していただきたいこと 1~9

1. 使用前に

- 各部のなまえとはたらき 10~14
- リモコンについて 11~14
- (台所・浴室リモコン)

2. 使いかた

- はじめてお使いになるときは 15~16
- 運転前の準備と確認 15~16
- 現在時刻の合わせかた 15~16
- お湯の出しかた 17~20
- お湯の出しかた 17~18
- 優先表示について 19
- 給湯設定温度の記憶について 20
- 湯はりのしかた 21~24
- おふろの温度調節 25~26
- 湯はり予約のしかた 27~28
- 保温のしかた 29~30
- 残り湯の沸かししかた 31~33
- 他のリモコンを呼出したいとき 34
- 凍結予防のしかた 35~36
- 安全装置について 37

3. 点検・お手入れ・他

- 点検・お手入れ 38~39
- 点検 38
- お手入れ 39
- 故障かな？と思ったら 40~42
- アフターサービス 43
- 仕様 44

特に注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

☆誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの三つに区分しています。

△危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を表示しています。
△警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
△注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・動物を誘致された人も含まれます。

☆注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

絵表示	意 味
	上記表示項目を守らなかった場合に起こりうる現象を表します
	一般的な「危険」・「警告」・「注意」
	感 電 注 意
	高 温 注 意
	発 火 注 意
	一 般 的 な 禁 止
	火 気 禁 止
	分 解 禁 止
	接 触 禁 止
	必 ず 行 う
	ア ー ス 必 要

危険

■機器の設置について

屋外用機器のため、屋内には絶対に設置しない。



ⓧ 不完全燃焼により、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

警告

■ガス漏れ時の処置について

ガス漏れに気付いたときは、右記①～③の処置を行う。

また、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しはしない。

ⓧ 火や火花で引火し、火災になるおそれがあります。



① すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。



閉じる



② 販売店または、もよりの大販ガスに連絡する。



連絡する



警告

■機器の設置について

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い求めの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用する。

☒ 思わぬ事故の原因になります。

■使用ガス・電源について

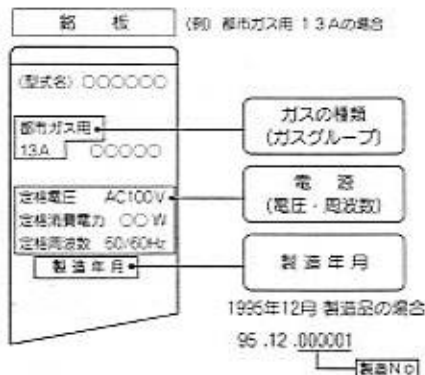
- 必ず銘板(機器前面に貼付)に表示してあるガス(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)を使用する。

☒ 火災、不完全燃焼、爆発点火のおそれや機器の故障の原因になります。

- 既居された場合にも、供給ガスの種類、電源の種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。

※ガスの種類には都市ガス(数種類)とLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

わからない場合やご不明の点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。



警告

- 機器の周辺や排気トップ周辺に燃えやすい物(洗濯物・新聞紙・木材・スプレー缶・灯油など)を置かない。

☒ 火災のおそれがあります。



発火注意



- 機器の周辺にスプレー缶を置かない。

☒ 熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



禁止

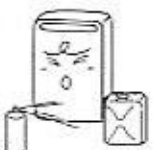


- 機器の周辺でスプレー、ベンジン、灯油など引火のおそれのあるものを使用しない。

☒ 火災のおそれや機器の故障の原因になります。



禁止



- 給湯およびシャワー使用中は、使用者以外は、お湯の温度を変更しない。

☒ やけどのおそれがあります。

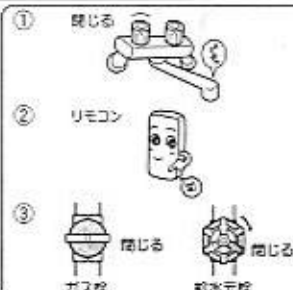


高温注意



- 使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は次の手順に従ってあわてずすみやかに処置する。

- ① 給湯栓を閉じる。
- ② リモコンの運転スイッチを「切」にする。
- ③ ガス栓・給水元栓を閉じる。



警告

- ・給湯およびシャワーを使う場合、再使用時や湯量を変化させた時などに熱いお湯が出ることもあるため、直接体にかげずに、手でお湯の温度を確かめてから使用する。



高温注意



☒ やけどのおそれがあります。

- ・ふろアダプター付近に濡ったりしない。特に小さなお子さまのいるご家庭では、注意する。

☒ 思わぬ事故の原因になります。



禁止



- ・ふろを流すときは

※デラックスタイプ… スイッチを押すときは
※スタンダードタイプ… スイッチを押すときは

浴そうの水位がふろアダプターより上にあることを確認する。

☒ やけどのおそれや浴そうの損傷の原因になります。

- ・この機器はアースが必要なため、アースされているか確認する。

☒ 万一、機器が故障した場合、感電のおそれがあります。



アースする。

注意

- ・排気トップからの排気ガスによって、加熱されて固るもの（植木・ペットなど）を置かない。

☒ 植木が枯れたり、ペットに悪影響をおよぼすおそれがあります。

- ・給湯、湯はり、追いだし、シャワー以外の用途に使用しない。

☒ 思わぬ事故の原因になります。

- ・機器周辺に電源プラグがある場合、

〔電源プラグをぬくときは〕

- ・コードを引っばらない。
- ・濡れた手で触らない。

〔電源プラグを差し込むときは〕

- ・確実に奥まで差し込む。

☒ 感電のおそれや発熱・発火の原因になります。

- ・使用中、使用直後は排気筒や排気トップ周辺が高温になっているため、さわったりしない。

☒ やけどのおそれがあります。



接触禁止



- ・入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確かめてから入浴する。

☒ お湯の温度が高い場合、やけどのおそれがあります。

お願い

危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

- 使用時の点火、使用後の消火を必ず確かめてください。

リモコンの燃焼表示を確認してください。
(15ページからの「使いかた」を参照)

- 使用中も、ときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

- この機器専用の付属品あるいは指定のもの(別売部品)以外は使用しないでください。

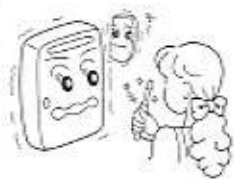
- 本製品は家庭用ですので業務用として使用しないでください。

悪くして寿命が短くなります。

- 機器およびリモコンの分解は絶対にしないでください。



分解禁止



- お手入れは、手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行ってください。

38～39ページの「点検・お手入れ」を参照してください。

- 朝一番のお湯など、長時間使用されなかった後の配管中のお湯(洗面器一杯程度)は飲用や調理用には使用しないでください。念のために雑用水として使用してください。

- 長時間使用しない場合は、万一のガス漏れや凍結を防止するため、ガス栓を閉じ、水抜きを行ってください。

36ページの「凍結予防のしかた(機器内の水を抜く方法)」を参照してください。



閉じる



ガス栓

- 雨水時は給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。また、再通水したときは、15ページからの「使いかた」に従って操作してください。

- 外気温が極端に低くなる場合、凍結予防処置が必要です。35ページの「凍結予防のしかた」を参照し、処置を行ってください。

凍結による機器・配管の修理は有料です。

お願い

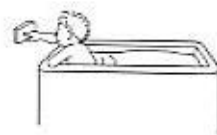
危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

- リモコンは、子どもがいたずらしないよう注意してください。

急な温度変化や熱湯でやけどのおそれがあります。



禁止

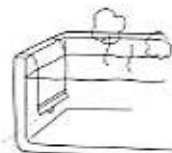


- ふろアダプターをタオルなどでふさがしないでください。

機器の故障や火災の原因になります。



禁止



ふろアダプター

- 積雪時は機器および機器の排気トップ・給気口が雪でふさがれていないか確認してください。

不完全燃焼の原因になります。

- 積雪や屋根からの落雪で機器および機器の排気トップ・給気口がふさがれている場合は、積雪・落雪対策が必要です。お問い合わせの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

- 機器の燃焼中は機器のそばに長時間とどまらないでください。

排気ガスを長時間吸うと、気分が悪くなることがあります。

- 機器を安心して、より長く使用していただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。(有料)

お問い合わせの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

- お出かけや、おやすみのときは、機器が消火していることを必ず確認してください。

- 煙突などにより、吸入・排気ガラスを排気トップの近くに取り付けないでください。

排気ガスの熱で、板ガラスが割れるおそれがあります。

- 雷が発生しているときは、すぐに使用をやめ、電源プラグを抜いてください。(機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用室内ブレーカーを「切」にしてください。)

電子部品が故障する原因になります。

- 雷が通ったことを確認してから、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んで使用してください。(機器用室内ブレーカーを「入」にしてください。)



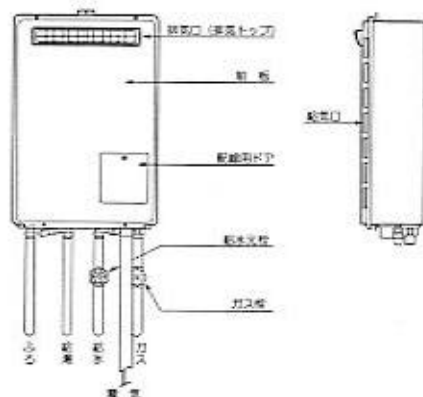
- 停電すると自動的にガスが止まり、燃焼が停止します。
- 再送電してもすべてのスイッチは「切」の状態になっています。15ページからの「使いかた」に従って、操作してください。

- 湯はり・追いだき中に停電すると、ふろアダプターから水が流れっぱなしになりますので、給水元栓を閉めてください。
- デラックスタイプのリモコンを使用されている場合は、時刻・予約時刻ともリセットされますので、送電後15～16、27～28ページに従って、再度時刻・予約時刻を合わせてください。

各部のなまえとはたらき

機器本体

PS標準設置形
31-576型

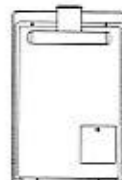


バリエーション

PS扉内設置形
31-577型



PS扉内設置・前方排気延長形
31-578型



PS扉内設置・後方排気延長形
31-579型



PSとは、パイプシャフトの略です。

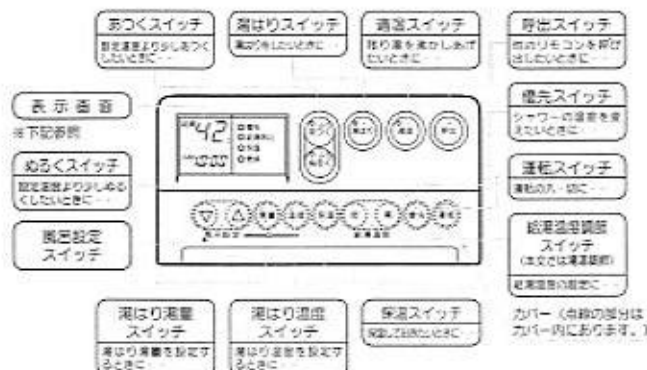
特長

- 給湯・ふろの設定温度が一目でわかるデジタル表示。
- 空だき、湯アリの心配がないニュージェットフロー。
- 浴そう内の温度差がほとんどなく湯があがる。

各部のなまえとはたらき

デラックスタイプ

浴室リモコン (36-562) [別売部品]



表示画面

[例] 給湯給水温度42℃、時刻AM10:00のとき



デラックスタイプ

台所リネコン (36-563) [別売部品]



ルビー（白銀の部分はルビー内にあります。）

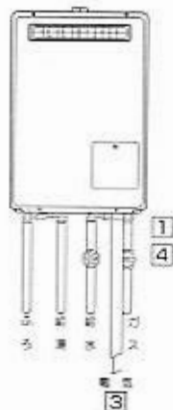
表示画面

[例] 貯蔵安定温度42℃、系列AM10:00のとき



はじめてお使いになるときは

運転前の準備と確認 ①～④の手順で行ってください。



① 給水元栓の開栓

給水元栓を全開にする。

② 出水の確認

台所または洗面所などの給湯栓を開け、水が出ることを確認する。
出水の確認後は、給湯栓を閉じる。

③ 電源の投入

電源プラグをコンセントに差し込む。
〔機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用屋内ブレーカーのスイッチを「入」にする。〕

④ ガス栓の開栓

ガス栓を全開にする。

⚠警告

ぬれた手で電源プラグをさわらない。

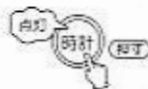
☒ 感電のおそれがあります。



現在時刻の合わせ方〔デラックスタイプの台所リモコン (36-563) 使用時のみ〕



① 時計スイッチを押す

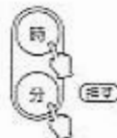


時計スイッチを押した後、
約10秒以内に「時・分スイッチ」を押さないと自動的に時刻を刻み始めます。



初めて時計スイッチを押したときは、12:00が表示されます。

② 時・分スイッチを押す



約10秒後ランプが消えて時刻を刻み始めます。



現在時刻に
午前(AM)と午後(PM)を間違えないように



：が点滅し、時刻を刻み始めます。

お湯の出しかた

警告

- 給湯およびシャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけずに手で水温を確認してから使用する。



高温注意

- 他の人が給湯およびシャワーを使用しているときにリモコンのお湯の温度を变えない。
- お湯を体に浴びたままお湯の温度を变えない。



高温注意

☑ やけどのおそれがあります。

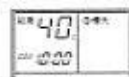
☑ やけどのおそれがあります。

1 ~ 4 の手順で行ってください。

1 運転スイッチを押す

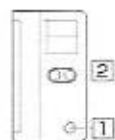
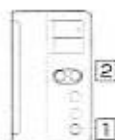


表示は台所リモコンの例です。
表示は、「点灯」「消灯」する部分のみ記載しています。



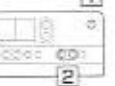
台所リモコン

デラックスタイプ スタンダードタイプ



浴室リモコン

デラックスタイプ スタンダードタイプ



ワンポイントアドバイス

お湯の量を絞すぎたときや水温が30℃に近いときは、設定温度を低くしても実際の設定温度よりお湯が高くなる場合があります。
このようなときは、給湯栓を開けて湯量を増やすか、水と混ぜて使用してください。



2 湯温調節スイッチを押す



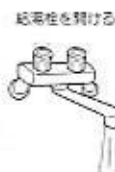
（明るくするとき）（あつくするとき）

温度表示が点灯していることも確認してください。点灯している場合は15ページめ（温度表示の切り替え方法）に記述。使用するリモコンを優先にしてください。



一度設定すると記憶します。

3 お湯を出す



給湯栓を開ける

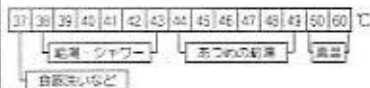
4 お湯を止める



給湯栓を閉じる

給湯設定温度について

- はじめて使用するとき
給湯温度は40℃に設定されています。



- 表示されている温度は、設定温度で実際のお湯の温度とは、配管条件などにより、多少異なりますので、めやすとしてください。
- 「高」スイッチを押し続けると50℃まで連続で変わります。60℃にするときは、もう一度押してください。

お湯の出しかた

警告

- 優先表示を切り替えるときは、必ず燃焼表示が消灯していることを確認する。
- 燃焼表示が点灯しているときの優先の切り替えはしない。
- 使用する前にリモコンの表示温度を必ず確かめてから使用する。
- ※ 浴室リモコンだけで使用されている場合、優先表示が点灯の状態では高温湯となり、必ず使用前に表示温度を確かめ、用途に応じたお湯の温度で使用してください。

☒ やけどのおそれがあります。

優先表示について

- 優先表示の点灯しているリモコンでお湯の温度調節ができます。

優先表示の切り替えかた

(浴室リモコンを優先にしたいとき)



(台所リモコンを優先にしたいとき)



この準備完了

警告

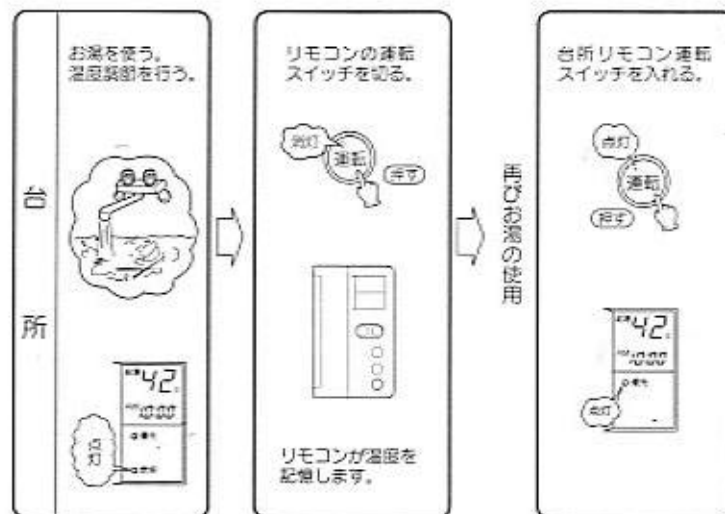
前日に設定したお湯の温度を記憶しているため、高温(60℃)で使った後、あらためて使用したり、優先切り替えを行ったときは、表示温度を必ず確かめてから使用する。

☒ やけどのおそれがあります。



給湯設定温度の記憶について (各リモコンで最後に設定された温度を記憶します。)

- 台所リモコンで紹介しますが、浴室リモコンでも同じ操作方法です。



使いかた

湯はりのしかた

運転前の準備

●湯はり温度、湯量は浴室リモコンで設定します。

浴そうの確認

- 浴そうの排水栓を閉じる



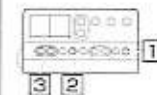
閉じる

- 浴そうのふたをする

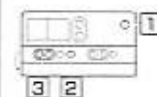


湯はり温度の設定

デラックスタイプ



スタンダードタイプ



- 1 運転スイッチを押す



- 2 温度スイッチを押す



- 3 風呂設定スイッチを押す



約10秒後ランプが消えて設定完了です。



湯はり温度について

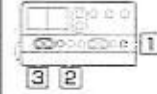
- はじめて使用するとき
湯はり温度は42℃に設定されています。

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
冷め					温め						

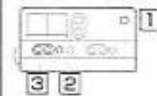
- 表示されている温度は設定温度で実際の湯はり温度とは、浴そうの種類や配管条件などにより、多少異なりますのでめやすとしてください。
- 一度、湯はり温度を設定すると記憶します。ただし約5分以上の停電後は42℃設定にもどります。

湯はり湯量の設定

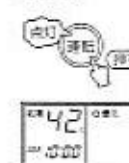
デラックスタイプ



スタンダードタイプ



- 1 運転スイッチを押す



- 2 湯量スイッチを押す



- 3 風呂設定スイッチを押す



約10秒後ランプが消えて設定完了です。



湯はり湯量について

- はじめて使用されるとき
湯はり湯量は150ℓに設定されています。

浴そう	1人用	1.5人用	2人用
湯量のめやす	約150ℓ	約190ℓ	約240ℓ

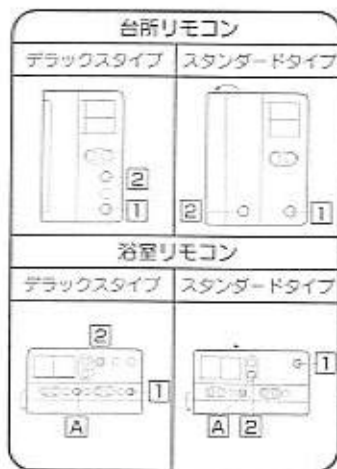
- お湯はり湯量は10ℓ～640ℓまでの設定ができます。
- 湯量スイッチを1回押すごとに10ℓづつ設定湯量が増えます。
- 表示されている湯量はめやすとして使用してください。
- 一度、湯はり湯量を設定すると記憶します。

使いかた

湯はりのしかた

1 ~ 2 の手順で行ってください。

1 運転スイッチを押す



表示は浴室リモコンの例です。

■湯はり運転中に給湯・シャワーを使用すると、湯はり運転は一時停止（給湯割込表示が点灯）となります。給湯・シャワーを使用した後、湯はり運転を再開します。

2 湯はりスイッチを押す

湯はり完了！



湯はり温度は約10秒間表示し、自動的に時刻表示にもどります。（デラックスタイプの台所リモコン使用時のみ）

給湯設定温度について

■浴室リモコンのカバーを開け、湯温スイッチ（A）を押すと、設定されている湯はり温度を約10秒間表示します。

- 設定された湯温、湯量になると自動的に停止します。
- 湯はりが完了すると電子音でお知らせします。

・途中で止めたいときは、湯はりスイッチを再度押してください。



ワンポイントアドバイス

■お湯をふやしたいとき（浴室リモコンで操作してください。）



1 運転スイッチを押す

2 湯はりスイッチを押す

3 湯はりの停止

室温が適温になれば、湯はりスイッチを再度押してください。



■ちょっとあつめの湯はりのしかた（設定温度が約2℃高くなります。）

■ちょっとぬるめの湯はりのしかた（設定温度が約2℃低くなります。デラックスタイプのみ）

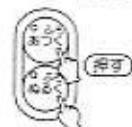


1 運転スイッチを押す

2 湯はりスイッチを押す

3 あつくまたはぬるくスイッチを押す

あつくまたはぬるく湯はり完了！



湯はりが完了すると電子音でお知らせします。

スタンダードタイプは「ぬるめ」の湯はり操作はできません。

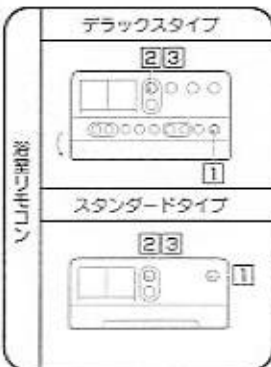
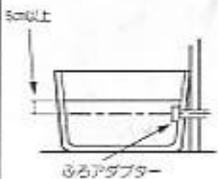
「あつめ」の湯はりはあつくスイッチ「ぬるめ」の場合はぬるくスイッチを押してください。

おふろの温度調節

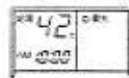
お風呂のお湯をあつくしたいとき（追いだき）

運転前の確認

浴そう内のお湯が適量に入っているかどうかを確認してください。



1 運転スイッチを押す



2 あつくスイッチを押す



3 あつく運転の停止



デラックスタイプ

- 約10分（約2分間）の湯温熱し湯をし、自動的に停止します。
- 途中で停止させたいときは再度あつくスイッチを押してください。

スタンダードタイプ

△注意

- 自動的に停止しません。湯温が適温になれば再度あつくスイッチを押してください。

☑ やけどのおそれがあります。

ワンポイントアドバイス

- 追いだきは高温水（約90℃）を差し溜める方式ですから浴そうの水位が上がってきます。
- 浴そうの種類や湯温などにより、湯温になるまでの水位の増えかたが異なります。
- 浴そうのお湯が多すぎると、浴そうからお湯があふれることがあります。

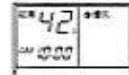
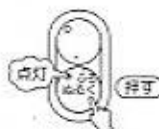
お風呂のお湯をぬるくしたいとき（デラックスタイプのみ）



1 運転スイッチを押す



2 ぬるくスイッチを押す



ぬるく運転完了！



- 約10分の水が注水され、自動的に停止します。
- 途中で停止させたいときは、再度ぬるくスイッチを押してください。

湯はり予約のしかた

(デラックスタイプの
台所リモコン (36-563)
をご使用の場合のみ)

湯はり予約時刻の設定



1 現在時刻の確認



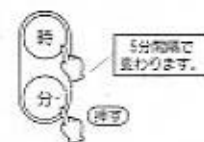
時刻が合っていないときは、15ページの「現在時刻の合わせかた」を参照し、時刻を合わせてください。

2 予約スイッチを押す



初めて時計スイッチを押したときは、12:00が表示されます。

3 時・分スイッチを押す



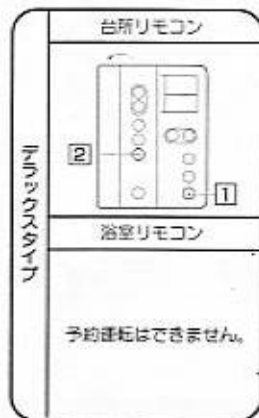
午前(AM)と午後(PM)を間違えないように

約10秒後ランプが点えて
設定完了です。



各スイッチ操作の間隔が1秒以上になると自動的に現在時刻表示にもどります。

予約運転のしかた



運転前の確認

浴そうの確認

- 浴そうの排水性を確認する
- 浴そうのふたをする。



1 運転スイッチを押す



2 開始スイッチを押す



湯はり運転完了!

- 予約設定された時刻になれば湯はりが完了します。
- 電子浴で湯はりの完了をお知らせします。

約10秒後予約時刻を
表示します。



- 予約、湯はり運転中に給湯・シャワーを使用すると湯はり運転は一時停止となります。
- 給湯・シャワーを使用後に運転を再開するため、湯はり完了時刻が少し遅れることがあります。

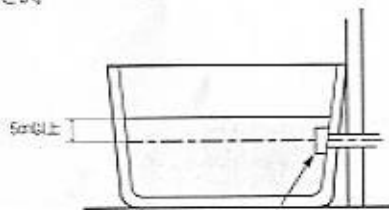
使
い
か
た

保温のしかた (デラックスタイプのみ)

運転前の準備

浴そう内の湯量の確認

浴そう内の湯量が、適量かどうか確かめてください。



湯量が少ないとき

- 23ページの「ワンポイントアドバイス」を行い、浴そう内の湯量を適量にしてください。

警告

浴そう内の湯量が少ない状態で保温運転をしない。

- ⊗ 熱湯が出て、やけどのおそれがあります。

ワンポイントアドバイス

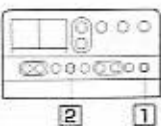
- 保温運転中は湯量が増えてきますので、ときどき浴そうの水位を確認してください。
- 浴そうからお湯があふれることがあります。

保温温度の確認

台所リモコン

保温温度の確認はできません。

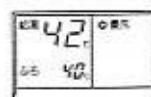
浴室リモコン



1 運転スイッチを押す



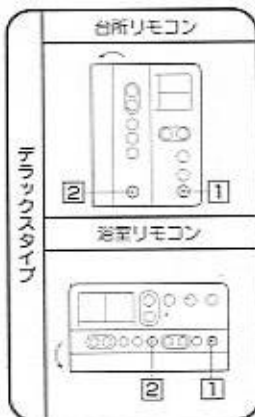
2 保温温度の確認



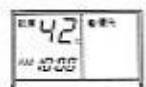
保温温度を変更したいときは21ページの「湯はりのしかた」を参照してください。

温度スイッチを押すと約10秒間表示します。

保温運転のしかた



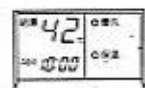
1 運転スイッチを押す 2 保温スイッチを押す



保温中は運転スイッチを切らないようにしてください。

保温運転の停止

表示画面の保温ランプが点灯してから約4時間後に自動停止します。



途中で保温運転を停止させたいときは、保温スイッチを再度押してください。



保温運転の便利な使いかた

- お湯はり完了後、自動的に保温運転にすることができます。

23ページの手順に従って、湯はりスイッチを押した後、つづけて保温スイッチを押してください。

- また、残り湯を湯かし上げた後も自動的に保温運転にすることができます。

31ページの手順に従って、過温スイッチを押した後、つづけて保温スイッチを押してください。

残り湯の沸かしかた (デラックスタイプ)

運転前の準備

浴そう内の湯量の確認

浴そう内の湯量が適量かどうかを確認してください。



沸かし上げると湯量が増えますのでいつも入浴されている水位より、約10cmぐらい低めにしてください。ただし、ふろアダプターからは5cm以上の水位としてください。

浴そうからお湯があふれることがあります。

湯量が少ないとき

- 23ページの「ワンポイントアドバイス」を行い、浴そう内の湯量を適量にしてください。



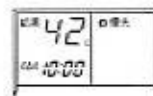
警告
浴そう内の湯量が少ない状態で残り湯を沸かさず。

熱湯が出て、やけどのおそれがあります。

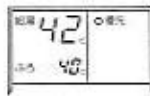
沸かし上げ温度の確認



1 運転スイッチを押す



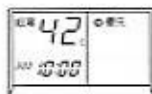
2 沸かし上げ温度の確認



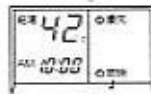
温度スイッチを押すと約10秒間表示します。

残り湯の沸かしかた (デラックスタイプ)

1 運転スイッチを押す



2 温度スイッチを押す



沸かし上げ完了!

沸かし上げが完了すると電子音でお知らせします。

高温水を直接送り込んで、沸かし方式になっていますので多少湯量が増えます。

途中で温度運転を中止させたいときは、温度スイッチを再度押してください。



残り湯の沸かしかた (スタンダードタイプ)

運転前の準備

浴そう内の湯量の確認

浴そう内の湯量が適量かどうかを確かめてください。



沸かし上げると湯量が増えますのでいつも入浴されている水位より、約10cmぐらい低めにしてください。ただし、ふろアダプターからは5cm以上の水位としてください。

浴そうからお湯があふれることがあります。

湯量が少ないとき

- 23ページの「ワンポイントアドバイス」を行い、浴そう内の湯量を適量にしてください。

△警告

浴そう内の湯量が少ない状態で強制湯を流かさない。

☑熱湯が出て、やけどのおそれがあります。

残り湯の沸かしかた (スタンダードタイプ)

浴室リモコン



△注意

- 自動的に停止しません。湯温が適温になれば再度あつくスイッチを押してください。

☑やけどのおそれがあります。

1 運転スイッチを押す



2 あつくスイッチを押す



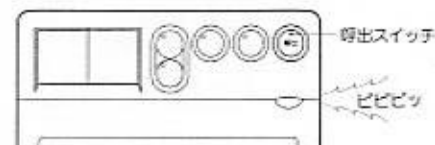
3 あつく運転の停止



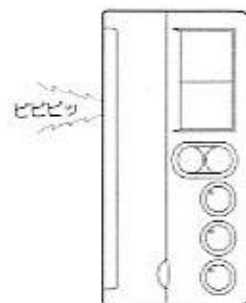
他のリモコンを呼び出したいとき

(デラックスタイプの浴室リモコン (36-562) をご使用の場合のみ)

浴室リモコン (デラックスタイプのみ)



台所リモコン



- デラックスタイプは浴室からも他のリモコンに呼び出し音を出すことができます。
- 呼出スイッチを押すと各リモコンで同時に鳴ります。(押し続けているとその鳴り続けます。)

凍結予防のしかた

■冬期は暖かい地域でも、配管内の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を予防するために、次のような措置を行ってください。

機器凍結予防による方法

気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒーターが作動して機器内を保温します。

- 1 浴そうのお湯を排水する。

- 2 電源プラグが差し込まれていることを確認する。(機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用室内ブレーカーが「入」になっていることを確認する。)

※リモコンの運転スイッチ「入」「切」に関係なく、作動します。

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。

■冷え込みが厳しいときは、この凍結予防ヒーターだけでは効果がありません。右記の「過水による方法」または、「機器内の水を抜く方法」を行ってください。

過水による方法 (冷え込みが厳しいとき)

- 1 浴そうのお湯を排水する。
- 2 リモコンの運転スイッチを切る。



- 3 ガス栓を閉じる。



- 4 給湯性より水を少量流す。(1分間に約400cc --- 太さ約4mm)



- 5 約30分後に再度流量を確認する。

給水、給湯配管、給水元栓などの凍結が予防できます。

もし凍結して水がでないとき

- 1 リモコンの運転スイッチを切る。
- 2 ガス栓を閉じる。
- 3 給水元栓を開じる。
- 4 給湯性を全開にする。
- 5 少し気温が上がったら、ときどき給水元栓を開けて、給湯性より水が出ることを確認する。
- 6 水が出るようになって、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上、使用してください。

凍結したまま使うと機器に異常が生じる場合があります。凍結により、機器や配管が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

外気温が低くなるおそれのあるときは、浴そうのお湯を最後の人の入浴後に必ず排水してください。

機器内の水を抜く方法 (長期使用しないとき 冷え込みが厳しいときなど)

△注意

お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が完全に冷えてから水抜きを行ってください。

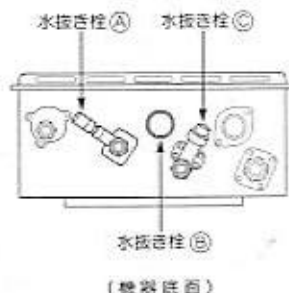
ⓐやけどのおそれがあります。

- 1 浴そうのお湯を排水する。
- 2 電源プラグを抜く。(機器周囲に電源プラグがない場合は、機器用室内ブレーカーを「切」にする。)

※機器用室内ブレーカーを切る場合、電気が遮断されて出るような電気器具と共有されている場合は、特に注意してください。

- 3 ガス栓を閉じる。
- 4 給水元栓を開じる。
- 5 すべての給湯性を全開にする。
- 6 水抜き栓 Ⓐ Ⓑ Ⓒ を左に回して取り外す。

再び使用するまでそのまましておく



給水、給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので、必ず保温材や電気ヒーターを巻く措置をしてください。機器からの排水量は約500ccですので、適切な容器を準備してください。

再度ご使用になるとき

- 1 水抜き栓 Ⓐ Ⓑ Ⓒ をしっかりと取り付ける。
- 2 給水元栓を開き給湯性より水が出ることを確認する。
- 3 必ずすべての給湯性を閉じてから15ページからの「使いかた」に従って使用してください。

安全装置について

安全装置の種類とはたらき

安全装置	作動理由	はたらき (現象)	処置方法
立消え安全装置	使用中にバーナーの炎が消えたとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器のガス栓が全開であることを確認し、使用してください。
過昇温安全装置	湯温が95℃以上になったとき	自動的にガスを止めます。	給湯栓を一度閉じて機器の給水元栓が全開であることを確認し、使用してください。
過熱防止装置	機器内の温度が異常に高くなったとき	自動的にガスを止めます。 (機器が使用できなくなります。)	すぐに使用をやめてガス栓を閉じてからお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
強火安全装置	機器内の熱交換器が異常な温度上昇をしたとき	自動的にガスを止めます。	
漏電安全装置	漏電したとき	機器が使用できなくなります。	電源プラグを一度抜き差ししてから使用してください。
凍結予防装置	気温が下がってきたとき	機器内に組込まれたヒーターが作動し凍結を予防します。	凍結予防のしかたをご覧ください。
過圧防止安全装置	機器内の水圧が異常に高くなったとき	機器の過し弁より圧力を逃すためお湯がでます。 給湯栓を閉じたあともお湯がでることがあります。	床下をぬらしめずのでふ割合が生じるときは排水処理が必要です。 お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

処置方法の手順後に再度同じ現象が起きたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

点検・お手入れ

点検

機器 および 周辺	点検のしかた	処置
	機器の周りや排気口、排気トップのそばに燃えやすいものを置いていませんか？	燃えやすいものを除いてください。
	運転中に機器から異常音や不伐な臭いなどありませんか？	お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
	機器の外観に異常はありませんか？ 排気トップおよび給気口にはこりや、変色したあとがありませんか？	
	機器や配管から、ガスの臭いはありませんか？	
	機器や配管から、水漏れはありませんか？	

定期点検のおすすめ

使用上、支障がない場合でも、安全により長く、使用していただくために2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。
詳しくは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
この場合は、有料となります。

使
い
か
た

点
検
・
お
手
入
れ
、
他

点検・お手入れ

お手入れ

お手入れのしかた	
機器本体・リモコン	<p>固くしぼった布で汚れをふきとってください。</p> <p>エンジンやシンナーなどは使わないでください。</p> <p>機器およびリモコンの色、表示ステッカーの文字が消える原因になります。</p> <p>リモコンは故障に水や洗剤などをかけないでください。</p> <p>リモコン内部の電気部品の故障の原因になります。</p> 
水フィルター	<p>1 給水元栓を開じる。</p> <p>2 水抜き栓③を左に回してはずす。</p> <p>3 水抜き栓③の水フィルターを水洗いして掃除する。</p>  <p>(機器背面)</p>

故障かな？と思ったら

■故障かな？と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。

こんなとき	お調べいただくこと	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> リモコンの運転ランプが点灯しない。 (時計表示が消えている。) 	<ul style="list-style-type: none"> 停電していませんか？ 漏電安全装置が作動していませんか？ 	<p>9</p> <p>37</p>
<ul style="list-style-type: none"> 給湯栓を開いてもお湯にならない。(水のまま) 	<ul style="list-style-type: none"> 停電していませんか？ 漏電安全装置が作動していませんか？ ガス栓が全開になっていますか？ 給湯栓・給水元栓が全開になっていますか？ 	<p>9</p> <p>37</p> <p>15~16</p> <p>15~16</p>
<ul style="list-style-type: none"> 給湯栓を開いても水がでない。 	<ul style="list-style-type: none"> 止水していませんか？ 凍結していませんか？ 	<p>7</p> <p>35</p>
<ul style="list-style-type: none"> 高温のお湯がでない。 	<ul style="list-style-type: none"> 湯温調節は適切ですか？ ガス栓が全開になっていますか？ 	<p>17~18</p> <p>15~16</p>
<ul style="list-style-type: none"> 低温のお湯がでない。 	<ul style="list-style-type: none"> 湯温調節は適切ですか？ 機器の水フィルターが詰まっていますか？ 給湯栓・給水元栓が全開になっていますか？ 	<p>17~18</p> <p>39</p> <p>15~16</p>
<ul style="list-style-type: none"> 温はり・温いだが止まらない。 	<ul style="list-style-type: none"> 停電していませんか？ 漏電安全装置が作動していませんか？ 	<p>9</p> <p>37</p>
<ul style="list-style-type: none"> 使用中、湯温が極端に変動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ガス栓が全開になっていますか？ 給湯栓・給水元栓が全開になっていますか？ 	<p>15~16</p> <p>15~16</p>
<ul style="list-style-type: none"> お風呂のお湯がぬるい。 	<ul style="list-style-type: none"> ふろ温度設定は適切ですか？ ガス栓が全開になっていますか？ 	<p>21~22</p> <p>15~16</p>
<ul style="list-style-type: none"> お風呂のお湯があつい。 	<ul style="list-style-type: none"> ふろ温度設定は適切ですか？ 給水元栓が全開になっていますか？ 機器のフィルターが詰まっていますか？ 	<p>21~22</p> <p>15~16</p> <p>39</p>

■以上のことをお調べになっても、なお異常があるときやわからないときは、お買い求めの販売店または、もよりの大販店に連絡してください。
不完全な処置は事故のもとになりますので、修理は絶対にお客さま自身でなさないでください。

故障かな？と思ったら

■次のような現象は故障ではありません。

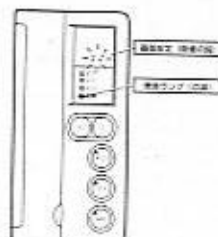
こんなとき	お答えします
<ul style="list-style-type: none"> 給湯性を絞ったら水になる。 給湯性を開いてもすぐにお湯が出てこない。 お湯が白く濁っている。 低温のお湯がでない。 	<ul style="list-style-type: none"> 給湯性からのお湯が1分間に約2リットル以下になると消火します。 機器から給湯性までの距離があるので、お湯が出てくるまでに少し時間がかかります。 白い濁りは、水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、細かい泡となって出てくる現象です。 夏場などの水温が高い場合には、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。給湯性をもっと開けて湯量を増やすか、水と混ぜて使用してください。
<ul style="list-style-type: none"> 運転を停止しても、しばらくの間、機器でファン音（ブーン）がする。 時計表示が「0:00」になっている。 給湯（湯はり）温度が40℃（42℃）に変わっている。 停電復旧後にお湯がでない。 	<ul style="list-style-type: none"> 再使用時の点火をより早くするために、しばらくの間（約7分間）ファンが回る音です。 停電など一時的に電源が切れた後（約5分以上）は、時計表示が「0:00」になります。給湯（湯はり）設定温度も初期設定温度に戻りますので、再設定してください。 お湯を使っている途中で停電が起きたときは、再送電してもリモコンのスイッチが「切」になっているため、点火動作はしません。再度リモコンの運転スイッチを「入」にしてから使用してください。 ふる配管中にたまった空気がふるアダプターよりしばらくの間出てくるためです。
<ul style="list-style-type: none"> 寒い日に排気口トップから白い煙がでる。 湯はり・追いだきが断続的に運転する。 給湯性を開けると機器の給湯側水抜き栓より、水が一時的にポタポタ出ることがある。（特に水圧が高い地域） 	<ul style="list-style-type: none"> 冬は、吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気により白く見えます。 給湯と同時に使用する湯はり・追いだきが断続的となるためです。 これは機器内の圧力が高くなり、過圧防止安全装置（P37）が作動して水が出る現象で、異常ではありません。このようなときは床面をぬらしますので、不都合が生じるときは排水処理が必要です。お買い求めの販売店または、もよりの大販ガスに相談してください。

異常報知（OKモニター）をお調べください。

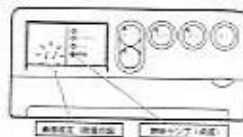
- 機器に不具合が生じると、リモコン表示画面の時刻表示部が下記のように2けたの数字と燃焼ランプが点滅します。

（デラックスタイプの例）

台所リモコン



浴室リモコン



表示パネル	内 容	処 置 方 法
05	給湯口の不良	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして再操作をして、表示が出なければ正常です。
11	バーナー点火せず	
12	バーナー途中消火	
14	過熱防止装置の作動	
16	給湯温度が高い	
31	給湯温度測定装置の不具合	
32	給湯温度測定装置の不具合	
51	ガス電圧系統の不具合	
61	燃焼ファン回転数の不具合	
71	電話部品の不良	
76	リモコン系統の不具合	

- 処置後も異常報知をくり返すときは、お買い求めの販売店または、もよりの大販ガスに連絡してください。

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 40～42ページの「故障かな?と思ったら」を見て、もう一度確認してください。
 - 賞品のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合は自分で修理しないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡してください。
- なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品名 ガスふる給湯器 (ニュージェットフロー16)
2. 大阪ガス商標コード 例 **(N) 31-576 (U)**
(後述の右下に貼付してあります) **大阪ガス株式会社**
3. リモコンのコード番号 例 デラックスタイプ台所リモコン
(リモコンのラベルに) の番号は36-563
4. 故障または異常の内容 (できるだけ詳しく)
5. ご住所・お名前・電話番号・道順 (できるだけ詳しく)

転居される場合

ガスには都市ガス(数種類)およびLPGガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証、補修について

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
 - 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
- 修理によって性能が維持できる場合は修理(有料)いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

- 補修用部品の最低保有期間は、当製品の製造打ち切り後10年です。
- その後の修理は補修用性能部品がなく、修理できない場合がありますので、ご了承ください。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

品 名		ガスふる給湯器 (ニュージェットフロー16)			
商 品 コー ド		31-576型	31-577型	31-578型	31-579型
型 式 名		YV1621R	YV1621RG	YV1621RQ	YV1621RM
種 類	給(出)湯方式	先止め式			
	給湯方式	反折式			
点 火 方 式		連続スパーク、ダイレクト着火			
給 湯 量		8.0ℓ/分 (作動水温 14.7 kPa 10.15kgf/cm ²)			
排 気 温 度		260℃以下			
外 形 寸 法		510mm×350mm×152mm			
重 量 (本体)		17kg	18kg		
燃 料	給 水	15A (R1/2)			
	給 湯	15A (R1/2)			
	給 湯	15A (R1/2)			
	給 湯	15A (R1/2)			
	給 湯	15A (R1/2)			
電 気	電 気	C31 (電線用ねじ)			
	使 用 電 源	AC100V (50/60Hz共用)			
	消 費 電 力	47W	50W		
凍 結 予 防 運 転 時		94W			
安 全 装 置		立割え安全装置 (フレームロック方式) 水質センサー・過熱防止装置・低火安全装置 過熱防止装置・過圧防止装置・漏電安全装置 (漏電遮断器) 凍結予防装置 (水抜き性、凍結予防ヒーター)			
付 属 品		●PS取付ねじセット ●取扱説明書 ●工事説明書 ●機器取付部品一式 ●保証書			
別 売 部 品		●浴室リモコン ●台所リモコン ●ふるアダプター ●パナリュウム移動セット ●取付説明書用取付ボックス ●低温運転セット			

使 用 ガ ス グ ル ープ		1時間当りの ガス消費量 kW	出 湯 能 力 ℓ / 分 (ガス消費量最大時)	
			上 野 池 型	40℃
都 市 ガ ス	13 A	34.9 (30,000kcal/h)	14 (16.0)	10.0
	L P ガ ス	34.9 (2,550kg/h)	14 (16.0)	10.0

- 備 考
- 出湯能力は給水圧力99.1kPa (1kgf/cm²) とし、
 - ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとす。
 - 出湯能力() 内は、湯水混合状態で設定した場合の値です。